ENJOY ROTARY
ROTARY CLUB
Fukushima Chuo
◆ 福島中央ロータリークラブ ◆
since 1990

よいことのために手を取りあおう
Rotary 福島中央RC

福島中央ロータリークラブ会報

事務局 〒960-8051 福島市曽根田町4-22
TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212
E-mail:info@fukushimachuo-rc.com
HP

2025年11月19日(水)
第16回(通算1643回) 味処大番 竹林亭
「ホームミーティング 」

例会次第

◆開会点鐘 鈴木 努会長
◆会長あいさつ 鈴木 努会長
◆ロータリー用語の解説
山田 稔クラブ研修委員長
◆幹事報告 菅野 幸一幹事
◆各委員会報告
・ロータリーの友の紹介
代読 雑誌委員会 石橋 真一委員長
・ニコニコBOX委員会報告
奉仕プロジェクト委員会 植木 博隆委員
・オープン例会詳細について
会員増強委員会 植木 博隆委員長

・年忘れ家族例会について
奉仕プロジェクト委員会 丹野 良一委員長
・BINGO景品ご協賛のお願い
親睦委員会 坂本 和司委員長
・理事会報告 鈴木 努会長
◆閉会点鐘 鈴木 努会長

《ホームミーティング》
司会:親睦活動委員会 坂本 和司委員長
◇開会の言葉 丹野 良一会長エレクト
◇会長あいさつ 鈴木 努会長
◇乾杯 佐藤 信雄直前会長
◇閉会の言葉 宍戸 宏行副会長

会長あいさつ 2025-26年度会長 鈴木 努

こんばんは。前回の福島愛育園移動例会、お疲れ様でした。子供達一人ひとりに渡る物品の少なさを痛感し、少しでも改善のお手伝いができて良かったなあと安堵していますが、皆さんはどうでしょうか。今後とも視野を広げて、福島の子供達を皆さんと一緒に見守れたらいいなと考えております。

先週、皆さんへ配布させていただきました理事会報告書はお読みいただけたでしょうか。大きな議題の一つは、来年の長浜東ロータリークラブの記念式典への参加です。昨年、私たちの周年行事には大勢のロータリアンが出席されました。そのお返しに、私たちにもできるだけ大勢での参加を希望されてくると思われます。長浜東RCからは、12月に入れば詳細を送るとの連絡がありました。参加について、ぜひご一考くださいますようお願い申し上げます。

クラブ会計は、鍛冶輝雄会員から大出隆秀会員が兼任となりました。いろいろと状況が変化してまいりますが、クラブ活動は先へ先へと進めなければなりません。引き続きご協力をお願いします。

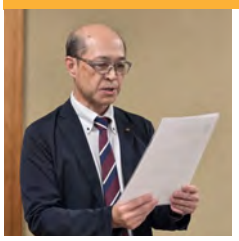
今日は竹林亭にお邪魔して、5時より理事会、6時30分よりホームミーティングです。今日まで移動例会や各贈呈式と、落ち着かない日々が続いたと思いますが、今後の大きなスケジュールは、次回のオープン例会、そしてクリスマス家族例会と続きます。皆さんにとって楽しい例会にできれば幸いです。私個人も、ロータリー会員として楽しい思い出がたくさんできればと考えております。多分、人生最後の友人を作る場所だとも思っております。私のエンジョイロータリーとは、たくさんの友を作り、たくさんの思い出を作り、多少の社会奉仕をすることかなーと勝手に考えております。

それでは、今日もエンジョイロータリーしましょう。以上です。

幹事報告 菅野 幸一幹事

1) 11月22日(土)に2025年ロータリー学友会in福島および学友ナイトin福島が郡山市で開催されます。芳賀 裕PGと安藤 正道地区RAC委員長が参加いたします。
2) 11月29日(土)13:00～郡山ビューホテルにて、「新会員セミナー」が開催されます。当クラブからは石橋 真一会員と川瀬 哲雄会員が出席いたします。
3) 次週11月26日(水)は23日が祝日のため、休会です。次回の例会は、来月12月3日(水)12:30～エフズサンパレスにて開催いたします。ゲストスピーチにフリーリポーターの鈴木 美伸様をお迎えしての「オープン例会」となります。ぜひ会員候補者をお誘いしてご出席くださいますようお願いいたします。

ロータリーの友の紹介



公共イメージ委員会

原稿 ： 斎藤 高紀委員長
代読 ： 石橋 真一雑誌委員長

＜横組の主な内容＞

RI会長メッセージ：フランチェスコ・アレッツォ氏 （p3）
今月はロータリー財団月間です。RI会長は、「寄付を行うだけでなく、寄付する理由についても考えよう」と述べ、「感謝の気持ち、喜び、希望を寄付という形で表しましょう」と結んでいます。

特集 インターアクト週間（p5）
大阪関西万博という国際舞台において、第2660地区の7つのインターアクトクラブの代表が、「人権と平和」について発表した記事が掲載されています。

特集 国際ロータリー（p12）
国際ロータリー世界本部 ONE ROTARY CENTERの訪問記事が載っています。

ポリオ根絶：ビル・ゲイツ氏へのインタビュー（p20）
ビル・ゲイツ財団の活動等がインタビュースタイルで分かりやすく話されていますので、一読を。

＜縦組の主な内容＞

SPEECH：㈱チームボックス代表取締役 中竹竜二氏早稲田大学ラグビー蹴球部元監督 （p67）
「これからの時代に求められるリーダーの在り方」と題して行われた講演の要旨です。
印象に残った言葉だけ紹介します。
「最も強いものが生き残るのではなく、変化に最も適応したものが生き残る。」ここから展開されるリーダーシップ論は参考になります。是非、自分で読んで身に着けてください。

この人を訪ねて：長崎東RC 南部光伸さん （p62）
創業113年の紳士服オーダー専門店の4代目の職人人生が紹介されています。
是非読んで、職人人生に触れてみたらどうでしょう。

ロータリー用語の解説

クラブ内研修用スピーチ（第14回）
ロータリアンの行動規範とは

山田 稔クラブ研修委員長

本日は、『ロータリアンの行動規範（Rotarian Code of Conduct）』についてご説明いたします。

ロータリーは、職業奉仕を活動の柱とする国際的な奉仕団体です。そのため、会員であるロータリアンには、誠実さや倫理性が強く求められます。
この価値観を具体的に示したのが『ロータリアンの行動規範』です。

この行動規範は、以下のような基本的な指針から構成されています：
1. 高い倫理基準を守り、誠実に行動すること
2. 個人として、また職業人としての行動に責任を持つこと
3. すべての人に対して公正に接すること
4. 職業を通じて地域社会と世界のニーズに貢献すること
5. ロータリーの理念を積極的に広め、模範となること

この規範は単なる理想論ではなく、日々のクラブ活動や職場、地域社会における行動指針です。
たとえば、ビジネス上での誠実な取引、公平な判断、他者の尊重といったことは、すべてこの規範に沿う行為です。

また、ロータリアンの行動規範は、ロータリーの倫理的土台である『四つのテスト』と密接に関わっています。
四つのテストが「考え方・判断基準」だとすれば、行動規範は「日々の実践ルール」であると言えるでしょう。

この行動規範を一人ひとりが意識し、実践していくことが、クラブの信頼を高め、ロータリアンとしての誇りを育むことにつながります。

以上、ロータリアンの行動規範についてのご説明でした。

ホームミーティング

開会の言葉を述べる
丹野 良一会長エレクト（左）

乾杯の挨拶をする
佐藤 信雄直前会長

乾杯する会員たち

司会を務める
坂本 和司親睦委員長

閉会の言葉を述べる
宍戸 宏行副会長

福島中央ロータリークラブ　2025-26　鈴木　努年度

第2回ゴルフ部会コンペ

2025年11月8日（土）パーシモンCC

優　勝　　今野　朗　会員

準優勝　　菅野 幸一幹事

３　位　　箭内 一典会員

BINGO景品のご協賛をお願いします！

12 月17日年忘れ家族例会・RAC 合同例会

BINGO 景品ご協賛のお願い

12月17日年忘れ家族例会において、BINGO 大会を行うこととなりました。
つきましては、例年同様おひとり 1,000 円以上の景品を 1 品以上ご協賛お願いいたします。
殺取りの都合上、協賛いただく景品及び、個数を下記に記入の上、12 月 10 日 (水) までに事務局に FAX かメールにてお知らせください。
景品は事前に クエティング エルティ　1F フロント、もしくは当日お持ちいただきますよう併せてお願いいたします。

親睦委員会

個数だけでも早めにお知らせ頂けると助かります

出品票　会員氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

景 品 名	個 数

Fax　024(526)7212　　メール　info@fukushimachuo-rc.com

本日の出席率

会員数	40名
出席者総数	18名
出席率	**45.0%**

ニコニコBOX委員会報告

奉仕プロジェクト委員会
植木 博隆委員

淺野 紘太会員	坂本 和司会員	鈴木　努会長
安藤 正道会員	佐藤 和子会員	丹野 良一会員
石橋 真一会員	佐藤 信雄会員	平井 義郎PG
植木 博隆会員	佐藤 元彦会員	箭内 一典会員
大出 隆秀会員	宍戸 宏行会員	山田　稔会員
菅野 幸一幹事	菅谷　敏会員	渡邊 英世会員

目標　150万円

本日の投入額　18件　25,000円

累　　計　461,382円

福島中央RAC活動報告

福島中央RAC　鈴木 奈々江会長

泉田 征慶ガバナー訪問例会

10月15日(水)　アオウゼ

例会に泉田ガバナーを始めとする多くのロータリアンの方に出席していただきました。いつもはクラブ事務所でやっている例会ですが、今回は福島市アクティブシニアセンター・アオウゼで開催しました。

今年からの取り組みで、「会員の学びとなる例会」を準備していました。今回、初めての形で例会を開催することができました。今回のテーマは「国際」ということで、クエン会員からベトナムのことを紹介してもらいました。ベトナムの歴史、経済、料理、観光地などを知ることができました。質問タイムでは、参加者１人１人が気になるところ、興味があるところの質問が出て、盛り上がった例会となりました。

その後、全員で懇親会に行きました。食事をしながら色々な話ができました。泉田ガバナーには、福島中央RACの様子を見ていただき、人数が少なくても楽しくやっていることを知っていただけたと思います。

第2530地区2025-26年度 地区大会

１０月25日(土)・26日(水)

福島中央RACとして地区大会に参加してきました。地区大会での活動は２つあります。１つ目は、青少年会議の企画・運営でした。青少年会議の目的は、インターアクト、ローターアクト、青少年交換学生、ROTEX、米山奨学生との交流です。今回は２～３人で１本のこけしの絵付け体験です。みんなで楽しく１本のこけしを作っていました。中にはハロウィン風のこけし、赤べこのこけしなど個性的なものができていました。

２つ目は、福島中央RACの活動資金を集めるための物品販売のブースを出しました。今回出したのは、モンゴルのスカーフ・靴下・ウォッカ、ベトナムのコーヒー、相楽会員の家のお米を売りました。ポリオの募金箱も設置して、私たちの活動を多くの方に知っていただくきっかけとしました。

多くのロータリアンの方が集まる地区大会で福島中央RACとして活動することにより、他の地区の方、分区を超えた方々との交流もでき、福島中央RACのことを１人でも多くの方に知っていただける場となりました。これらの繋がりを大切にして、自分たちの活動を広げていきたいと思いました。また、次年度の地区大会で何ができるかを考えるきっかけともなりました。

サンドラファミリー歓迎

11月1日(土)
福島市：竹林亭
須賀川市：久保木畳店

2004 - 2005年度の青少年交換学生として福島中央RCで受け入れていたサンドラさんの家族が福島に遊びに来ていただきました。ご本人は来ることができなかったのですが、お姉さんのルシアナさんのご主人と息子さん、ご両親が来ました。ルシアナさんは、サンドラさんの前に花巻RCに青少年交換学生として来ていたそうです。また、お父さんは沖縄で生まれ、２歳のときにブラジルに渡ったと言う日本との繋がりのある方でした。

福島中央RCの箭内さんにはランチの場を作っていただき、鈴木会長をはじめとするロータリアンの方に集まっていただきました。ルシアナさんたちも驚いた様子ではありましたが、サンドラさんの当時の写真や会報を見て喜んでいました。最後には、ロータリアンの方からのお土産に喜んでいました。

午後は須賀川市にある「TATAMI VILLAGE 久保木畳店」に行きました。畳の説明を聞いたり、実際に畳を持ち上げたりして日本の文化に触れてもらいました。

日本旅行中に急遽、福島に遊びに来てもらうことができました。次はサンドラさんも日本へ来たいと連絡が来ています。２０年が経った今でも繋がりがある事業なんだと、改めて実感することができた１日となりました。ブラジルに遊びに行きたいと思いました。